

民主も検討始める

民主党の憲法調査会は25日の総会で、憲法改正の発議要件を定める96条について議論を始めた。識者から意見を聞くなどしたうえで、参院選マニフェストで何を訴えるかを決める。

総会では、96条改正に前向きな渡辺周衆院議員が「憲法のどの項目を改正するか明記し、改正に取り組むべき

だ」と主張した。

この日は民主党議員を中心とする96条改正に反対する議員連盟「立憲フオラム」も35人で発足。国会会期末の6月24日に大規模な集会を開くことを決めた。民主、みんな、共産などの有志による議連「13条を考える会」も発足。

呼びかけ人の小西洋之参院議員（民主）は「立憲主義や人権の歴史、憲法の諸原理を学ぶ会としたい」と語った。